

しっかりとまちづくりを見学

～春の市民見学会～

5月29日(火)と6月5日(火)の2日間、『市民見学会』(市主催)が行われ、個人と団体合わせて56人が若山浄化センターやクリンクルセンター、登別温泉地獄谷、大湯沼川探勝歩道親水施設(足湯体験)、今年4月に開所した就労継続支援施設『月とらいおん』を見学しました。

この市民見学会は、市民にもっとまちづくりの様子を知ってもらい、市政への理解を深めてもらおうと、市が毎年春と秋に開催しています。

若山浄化センターでは、下水道管を通して流入する汚水などが、安全で無害な水と汚泥に分けられる処理過程などの説明を受けた後、センター内を見学。クリンクルセンターでは、燃やせるごみや燃やせないごみ、資源ごみなどがどのように処理されているのか説明を受けました。

参加者は、「個人ではなかなか見学できないので、参加して良かった。ごみの問題などあらためて考えさせられました」と話していました。



▲クリンクルセンター



▲若山浄化センター

木のぬくもりを感じながら遊びを満喫

～木と森の遊び場～



5月18日(金)～20日(日)の3日間、ふおれすと鉱山で『木と森の遊び場』(NPO法人モモンガくらぶ主催)が開催され、多くの親子連れなどで賑わいました。

この催しは、小さな子どもから大人まで、木に触れ、森の中で遊び、自然の中で学べるイベントとして、昨年10月に続き2回目の開催。今回は、『地域が活気づく木育推進事業』として、財団法人太陽北海道地域づくり財団の助成を受けて行われました。

会場には、西興部村にある森の美術館『木夢』の館長を務める伊藤英二さんが制作した滑り台や砂場、積み木、パズル、メリーゴーラウンドなど、木製の遊具が盛りだくさん。子どもたちは、木の砂場に体を埋めたり、木製の車を保護者に引いてもらったりして、木のぬくもりを感じながら遊んでいました。

体を動かすことが大切

～かろやか体操指導者養成教室～

5月30日(水)～6月20日(水)の毎週水曜日、市民会館中ホールで『かろやか体操指導者養成教室』(市主催)が開かれました。

この教室は、筋力向上や脳の活性化を図る『かろやか体操』の指導者を養成し、老人クラブや町内会などでの指導のほか、市の介護予防事業にご協力していただける方を養成しようと開催されたものです。

5月30日に行われた教室では、家庭でも手軽にできる体操や食生活のポイントをまとめた『かろやか手帳』の説明や介護予防に関する講話、基本体操が行われました。

健康運動指導士の五十公野修さんは、講話の中で「歩かなければ歩けなくなり、歩けなくなれば寝たきりになります。人の体は使わなければ使えなくなるので、意識して体を動かすことが大切です」と話していました。

